

平成26年度
筑波大学法科大学院
(ビジネス科学研究科法曹専攻)
入学試験 [第二次募集]

論文試験問題

(120分)

受験番号	氏名

注意事項

- 1) この問題冊子の表紙に、受験番号、氏名を記入してください。
- 2) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 3) 試験開始後、この問題冊子が1～8頁であること、答案用紙が3枚【1枚目；問Ⅰ（設問1）及び問Ⅰ（設問2）、2枚目；問Ⅰ（設問3）、3枚目；問Ⅱ（設問1）及び問Ⅱ（設問2）】あることを確認してください。
- 4) 試験開始後、3枚の答案用紙それぞれに、受験番号を記入してください。
- 5) 筆記用具は、鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。消しゴムを使用することができます。
- 6) 下書きは問題冊子の2頁及びその他の頁の余白、裏面を適宜利用してください。
- 7) 問題冊子は持ち帰ることができません。答案用紙とともに提出してください。
- 8) 試験開始後30分間、試験終了前10分間は、退出できません。

(余白頁) 下書きはこの頁やその他の頁の余白、裏面を利用してください。

問Ⅰ 下記の文を読んで、次の各設問に答えなさい。(注；法律の専門的知識を問うものではありません。)(配点40点)

(設問1)

銃の取引を禁止せよとする著者の主張の根拠は何か、200字以内で説明しなさい。
(10点)

(設問2)

麻薬取引を自由化せよとする著者の主張の根拠は何か、200字以内で説明しなさい。(10点)

(設問3)

麻薬と銃の取扱いについての著者の見解を踏まえて、300字以内であなたの意見を述べなさい。(20点)

著作権法により公開しておりません。

[問Ⅰの文]

出典：竹内靖雄『法と正義の経済学』(2002年、新潮社)より抜粋

*ただし、出題に際して、見出しを省略している。

問Ⅱ 下記の文を読んで、次の各設問に答えなさい。(注；法律の専門的知識を問うものではありません。)(配点60点)

(設問1)

著者がいう、自然環境保護における保全主義と保存主義について、300字以内で説明しなさい。(30点)

(設問2)

傍線部において、筆者は、「また私たちが残酷と感じるような哺乳類などは、殺さないことを目的として、資源としての利用をやめ保存の努力をすべきだということになる。」と論じているが、この筆者の見解について、あなたの意見を300字以内で述べなさい。(30点)

著作権法により公開しておりません。

[問Ⅱの文]

出典：加藤尚武『環境と倫理 [新版]』(2013年新版第7刷、有斐閣アルマ)より抜粋

*ただし、出題に際して、見出しを省略している。